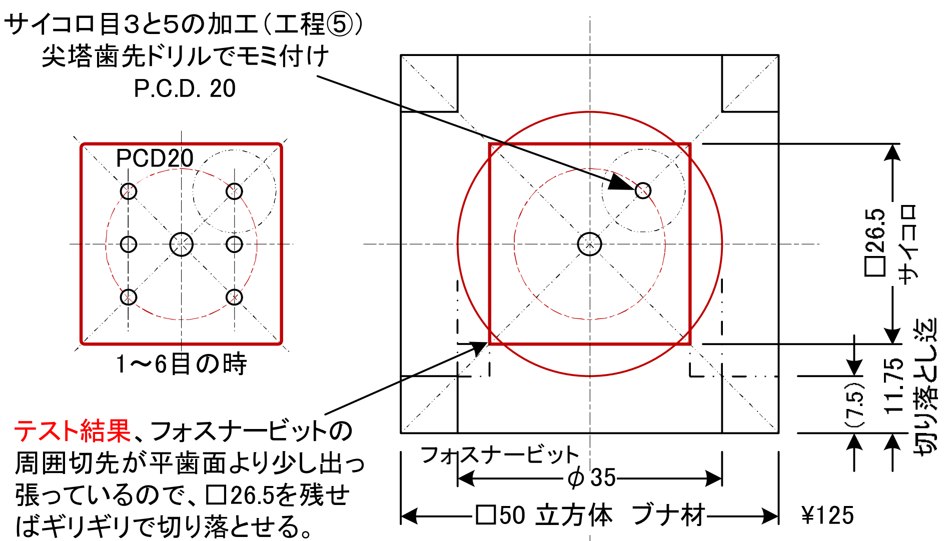
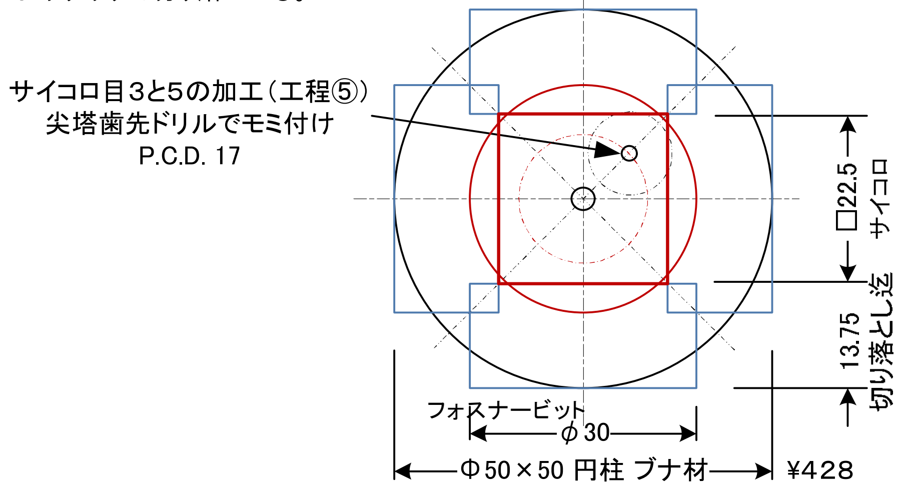
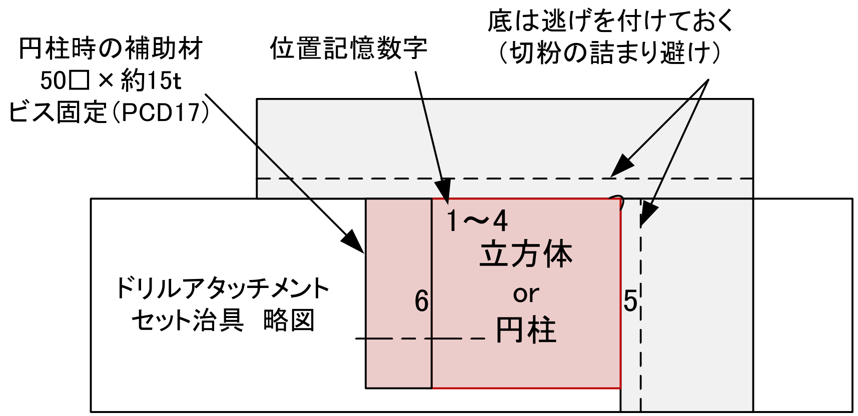
立方（or 円柱）体にサイコロを閉じ込める工程







サイコロに目を入れない場合は、⑤の手順を飛ばすこと。

① ワーク素材の寸法と直角度の確認
基準値50mmの寸法精度が悪い時は、フォスナービットでの切り落とし値を加減する。
（中に取り残されるサイコロは、いびつでは面白くないの精度は重要）

② 円柱ワークの時には、50□の補助材を片面にネジ止め（3本）する。このとき、他面からのビット加工の歯が、絶対に届かないビスの長さにすること。

② ドリルアタッチメント（又はボール盤）にセット治具を取り付け、素材の芯にビットが何時も正確に降りるようにする。

③ 素材の六面の左上部に、位置記憶の為に1から6まで番号を記入しておく。

④ 番号1の面をセットし、フォスナービットで掘り進み、目標の切り落とし深さの少し手前まで（0.5mm位）、1面から6面まで全て彫り込んでみる。 丸座面は補助材を外して、同じく5と6面を加工する。（サイコロの稜角だけが、まだしっかり繋がった状態になるはず。）

⑤ サイコロに目を入れたい場合は、この段階で尖塔歯先ドリルで、サイコロ目 3と5をモミつけておくとよい。
（このとき、全ての面には、フォスナービットのセンターが付いて、サイコロ目の1に見えるので、他の目を追加するには奇数しかない。対面に同じ目を刻むとよい。 （但し、中心の穴を埋め戻せば2・4・6の目を付けることも可能）

⑥ サイコロが切り残された稜角の様子を見ながら、彫り込み深さを切り落とし値に近づくまで微調整して、サイコロを切り落とす。（最後の首の皮一枚は、カッターナイフなどで切り離す）

⑦ サンドペーパーで仕上げ、塗装して完成

<サイコロが取り出せない理由>

立方体の時
* 26.5□のサイコロの対角距離　26.5×√2＝約 37.48
* 37.48は、35φの穴を絶対に通らない。

円柱時、22.5×√2＝約31.82　これも30φの穴は通らない。